

質問

以下の問題を解説していただきたいです。

初項 a 、公差 $d \neq 0$ の等差数列 $\{a_n\}$ について、つぎの命題 P は命題 Q の何条件かしらばなさい。

P : $\frac{a}{d}$ が有理数である。

Q : $\{a_n\}$ から無限等比数列が選べる。

回答

十分性 : $P \rightarrow Q$ と、必要性 : $Q \rightarrow P$ それぞれ、証明するか、反例を挙げるかします。

解答

(1) 必要性: $Q \rightarrow P$

実は、3 項の等比数列を含んでいれば、 $\frac{a}{d}$ は有理数である。

$$a_{i+1} = a + id$$

$$a_{j+1} = a + jd$$

$$a_{k+1} = a + kd$$

が等比数列になっているとする ($i < j < k$)。

$$\begin{aligned} 0 &= a_{j+1}^2 - a_{i+1}a_{k+1} \\ &= (a + jd)^2 - (a + id)(a + kd) \\ &= ad(2j - i - k) + d^2(j^2 - ik) \\ &= d(a(2j - i - k) + d(j^2 - ik)) \end{aligned}$$

$2j - i - k = 0$ とすると

$$j^2 - ik = 0$$

i, j, k は等差数列かつ等比数列

$$\therefore i = j = k$$

よって、 $2j - i - k \neq 0$ 。

ゆえに

$$\frac{a}{d} = \frac{-j^2 + ik}{2j - i - k} : \text{有理数}$$

(2) 充分性: $P \rightarrow Q$

$\frac{a}{d} = \frac{q}{p}$ (p : 自然数, q : 整数) とする.

$$\begin{aligned} a_{n+1}(1+p) &= (a+nd)(1+p) \\ &= a+pa+(1+p)nd \\ &= a+qd+(1+p)nd \\ &= a+((1+p)n+q)d \\ &= a_{(1+p)n+q-1} \end{aligned}$$

ゆえに, 数列 $\{n_i\}$ を

$$\begin{aligned} n_1 &= 1 \\ n_{i+1} &= (1+p)n_i + q - 1 \quad (i = 1, 2, \dots) \end{aligned}$$

で定めると, 部分列 $\{a_{n_i}\}$ が公比 $1+p$ の等比数列である.

したがって, P は Q の必要十分条件である.